～～～

対面リーディングと私

「読むことの楽しさ・難しさ」

正垣（まさがき） 恵子（けいこ）

仕事を定年退職した時に、今まで経験したことのない何か新しい世界を見つけたいと思い、ライトハウスの門を叩きました。

それまで朗読と云えば、少女時代にラジオで聞いた NHK の朗読番組「私の本棚」が最も印象的なものでした。アナウンサーの樫山治子さんのしっとりとした落ち着いた声が今も耳の奥に懐かしく残っています。

更に、これも中学・高校生の頃に夢中で読んだ「若草物語」や「風と共に去りぬ」などの翻訳小説の中で、家族が集まって編み物や刺繍などの手仕事をしながら、誰か一人が読み聞かせる小説などを、皆で楽しむと云う場面が、暖かな家庭の団欒を象徴する場面に思えて、好ましい外国の習慣として私の心に残っていました。

こんなふうに私の中では、朗読とは主として文学作品を読むという極く限られた狭い理解しかありませんでした。しかし、ライトハウスの音訳講習会で、その私の考えが非常に偏った浅い思い込みであったことを知ることになりました。安田知博先生や中井はつみ先生の音訳講習を受講した折、その教材は想像もしなかった各種分野に広がり、驚き、戸惑いの連続。自分の安易さに恥じ入るという経験を繰り返しました。

講習会で学びながら、「週刊新潮」の録音グループに入れて頂いたり、英語チームで「英語よもやま通信」に関わらせて頂いたことは、大変勉強になり、楽しい経験でありました。朗読の奥深さにも触れることになりました。

そして、現在は縁あって、対面リーディングをやらせて頂いています。先の音訳録音の経験が大変役に立つ一方で、対面リーディングならではの新しい難所にもぶつかりながら、毎回、興味深い発見を繰り返しています。

対面リーディングでは、何といっても利用者の方と直に触れ合うことで、その方の生活に根差したニーズを知り、その方の生き方そのものが伝わって来ます。当日、初見で読み物を提示されるのですが、あらかじめの下調べができないための難しさがあります。常日頃から、いろいろの事柄に興味を持ち、アンテナを広げ、知識を積んでおくことの大切さ。又、咄嗟に、短時間で、わからないことを調べる力を積んでおくことの必要も学びました。読む側の思いだけで一生懸命になり過ぎるきらいがありますが、聴く人の立場になって、くつろいで聴いて頂ける読みを心がけると云う視点も忘れてはならないことだと痛感しています。

リーディングの技術的な面、広い知識や教養、時事的な情報など、これからも深めて行かなければならない課題がたくさんあります。

利用者さんとの交流を楽しみながら、一歩一歩、私のライフワークとして続けて行きたいと願っています。

77. ゴルゴ１３の決定版の音訳作品が完成！

二村（ふたむら）　晃（あきら）

今年の５月、『ゴルゴ13（サーティーン）』の決定版といえる176ページの大長篇劇画、第81話・『すべて人民のもの』の音訳作品が完成しました。

音訳者は、グループN‐ｂｕｎの西村道子さん。彼女の流暢な語りで、秘密のベールに包まれている帝政ロシアの莫大な遺産と、その相続者についての物語が、次第に明らかにされていくのです。アメリカの年度予算額にも匹敵するといわれるロマノフ王朝の遺産の相続人が、革命70年後の1988年に、財産を預託しているスイスの銀行を訪れます。

その男は、存在が公認されていない第５皇女の息子と称し、半分に割られた双頭の鷲の割符になるメダルを持っていて、合い言葉も完璧です。ロシア最高統帥部のオガルコフの腹心の部下のニコライ大佐で、殺人機械といわれる格闘技の持主。この財産を手にしたらゴルバチョフを追放して、ロシアを支配することを画策しているのです。ゴロバチョフの陣営はこの陰謀を察知し、ニコライの射殺をゴルゴ13に依頼します。

第５皇女ドーラは、日本人の東郷麟三の力で収容所から救出され、シベリアに逃がれ、生まれた息子は、グレゴリー・皇士・東郷＝ロマノフと名付けられます。強い父の薫陶を受けて少年期を過ごすのですが、悲運の父の仇を討つために恐るべき力を見せつけます。「皇士は優しい子供でした。優し過ぎて、そのままでは生きていけない人間です。もしも生きているとすれば、感情の全てを破壊されて機械のようになっているでしょう。」とは母の言葉ですが、デューク東郷こと、ゴルゴ13に重なります。

音訳作品は、テンポよく読み進められていきます。息つく暇もない展開です。いつもの登場シーン、「短い黒髪、長いもみあげ、太い眉、引き締めた口許、ゴルゴ13である」。何度聞いてもうっとりする小気味のよいゴルゴの表情、クローズアップの表現です。

母に捨てられた恨みを銃弾に込めて、ニコライはイギリスの片田舎に住む母のドーラを訪ねるのですが、自分を狙う狙撃者に気付き、樹林に逃げ込みます。長距離狙撃の欠点はスコープから俺が消えることだと豪語していたのですが、ドーラのもう一人の息子、皇士　東郷なら幼年時代、シベリアの森に隠れたトナカイを一発で仕止めていました。

ゴルゴの眼が光る。人間の動きを察知した銃口が火を噴く。銃声が辺りにこだまする。〈ズキューン！〉　眉間を撃ち抜かれたイコライ。草の蔭に半円形のメダルが転がる。

最後に、スイスの銀行家ヒューラー会長から、ラスプーチンの陰謀が語られます。「実はロマノフ家と当家の間には、もう一つの契約条件があるのです。70年後、相続人が現われなかった場合、ロマノフ家の財宝は更に70年、眠りにつく。その上で、更に莫大な額にふくれ上がった財産は、その全額が世界で最も貧しい国に、無償で貸しつけられるというものです」。ラスプーチンは、140年の歳月をかけて人民から巻上げたおびただしいロマノフ家の財産を巧妙にだまし取ったのです。すべてを人民のものにするために……。

何とも壮大なロマンではありませんか？　ぜひお聴きになって下さい。　〈つづく〉

パーソナルカラーと将来の可能性

サービス部　笹田（ささだ）　大介（だいすけ）

初めまして６月より５階のサービスフロアで働いております笹田大介です。入社して早くも３か月が経ちました。働く環境には慣れてきましたが、学ぶことも多く日々邁進しております。

私は以前約１０年間美容師として活動しておりました。活動した中でさまざまな経験をしましたが、特に知識として残っているものは『パーソナルカラー』という色に関しての知識です。パーソナルカラーとは人間が本来もっている肌や瞳、髪の色に合った色を選ぶ方法であり、その色を顔回りに近づけると女性であれば、肌の色がワントーン明るく見えさらに血色がよく見えます。男性であれば、髭の剃り後の青くなった部分が目立たなくなる効果もあります。

具体的にどういった診断方法で人にあった色を見分けるのかと申しますと、カラードレープという何十種類もある色の布（45cm × 45cm）を一枚取り出し、肩から襟に掛けて顔の肌の色にどれだけ馴染んで見えるか、明るく見えるかで判断します。そして何度もこの作業を繰り返します。

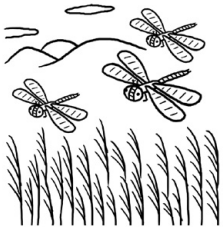
最初はピンクや赤、青、黄色など判断しやすい色で行い、顔の色を大きく４つのタイプに分けます。そして徐々に色を絞り込み、最後に自分自身の一番似合っている色（ベストカラー）を選び出します。ちなみに私のベストカラーはストールグレーという少し濃い灰色です。ストールグレーのシャツを着ると確かに似合っていると、よく言われたので調子にのってずっと同じ色を着ていた記憶があります。

ピンク色が似合わないと思っている方でもサーモンピンクやショッキングピンクなどトーン（色の明度、彩度の複合概念）が違うピンク色があるので、自分に合ったピンク色を見つけることが可能です。

そして色は目視だけではなく、最近は物体の色を識別し読み上げ機能がある機器やアプリを活用することで認識することが可能です。今は物体そのものの色の認識機能しかありませんが、近い将来肌の色を認識して、その日一日の服のコーディネートを音声でアドバイスしてくれる機器やその色の情報検索による服の通信販売、その服の色にあったアクセサリーを作成してくれる３Ｄプリンターが開発されるのではないかな？と思っております。

アイデアは尽きませんが、今は周りの人にアドバイスを頂きながら時にはストールグレイにお世話になり、オシャレな生活を目指したいと思います。

「私のふるさと」ではありませんが、私の古巣で経験したことを、今の職場を通じて利用者の皆さまにアドバイスができればと願っています。



寄り道・回り道

レポーター：木村（きむら） 謹治（きんじ）

（デパートで買える） 堺市が誇る逸品

堺は鎌倉時代には漁港として発達し、その後西日本の海運の拠点として発展しました。そして戦国時代、貿易港として黄金の時代を迎えます。この時代、対明貿易や南蛮貿易など海外との交流拠点として発展し、当時の堺は世界でも珍しい環濠都市を形成して自治都市として繁栄。その自由都市堺が誇る逸品・３点を紹介します。

七味唐がらし（詰替用） 15g 315円

【店名】やまつ辻田
【住所】堺市堺区車之町東２丁1-11
【電話】072-232-3835
【百貨店】
阪急梅田本店 B1階 キッチンストッカーコーナー
高島屋大阪店 B1階 味百選コーナー
大丸心斎橋店 B1階 グロッサリーコーナー

江戸時代から泉州に伝わった鷹の爪の原種に惚れ込み百年を超えて代々守り伝え続けた香辛料の老舗です。日本で出回っているのは赤唐辛子で９９％が外国産。

素材を厳選し「和するように、生かすように」国内産唐がらし、ビロードごま(茨城県産)、実生柚子(高知県産)、高知糸すじ青のり(寒採り極上品)、国内産山椒、芥子の実、麻の実を石臼でひきあげた山椒の香り高い七味です。封を切ってもいつまでもいい香りが続きます。

けし餅

【店名】小島屋
【住所】堺市堺区宿院町東1-1-23
【電話】072-232-3835
【百貨店】阪急うめだ本店
高島屋 各店舗

けしの実は、室町時代インドよりもたらされたと言われ、江戸時代初期より、大阪、堺、和歌山周辺で盛んに栽培されるようになりました。けし餅は求肥状の柔らかい餅の中に、甘さ控えめのこし餡が入り、その周りを芥子の実で美しく覆われているお菓子で、昔堺が芥子の名産地だったことを改めて思わせる和菓子です。延宝年間において本邦最初の珍菓として登場して以来、現在に至ってます。

肉桂餅 ５個入り 1150円

【店名】八百源来弘堂本店
【住所】堺市堺区車之町東２丁1-11
【電話】072-232-3835
【百貨店】
阪急梅田本店 B1 日本銘菓撰コーナー
高島屋大阪店 銘菓百選コーナー

南蛮貿易の港町として栄えた堺。ヨーロッパや中国・ルソンから何百種もの香料・香木を輸入し、日本全国に商っていました。香料の中で「肉桂」（シナモン）は香りもよく、珍重されていました。

その「肉桂」を柔らかな求肥に練り混ぜ、小豆のこし餡を包み、新しい菓子として生まれたのが「肉桂餅（にっきもち）」です。「肉桂餅」はその歴史と 「わび」「さび」にも通じるセピア色の姿、千利休生誕の地、茶の湯発祥の地としての「堺」の歴史が生んだ伝統の和菓子です。

数式の読み方

数学を苦手とする方は意外と多いです。簡単な計算は電卓を使ったり、買い物をした時もレジスター計算し釣り銭まで自動的に出してくれます。

世の中に数字が渦巻いている割には考える機会が少なくなってきたようです。

一方、書籍に目を向けてみると、以外とお目にかかる機会が多いようです。数学の本は当然のことながら、物理など理科系の図書をはじめ、経済関係の図書や統計学、はたまた小説の中でもお目にかかる時があります。

数式と出会った場合はどうされますか。高校時代を思い出して・・・。

でも、ちょっと待って下さい。授業で習ったとおり読むと誤った情報を伝える場合があります。

数式を読む場合、小説などのようにスラスラと読む必要はありません。相手が式を理解できるように読んで下さい。

式が複雑になればなるほど、要素に分けて読む方が理解されやすいと思われます。

例えば分母が〇〇で分子が〇〇でと言うようにはっきり区別して読むようにします。

また、今から始まる式は何であるかと宣言するのも一つの方法です。

例えば　分数です。分母が〇〇、分子は〇〇ですとはっきり分かるように読めばさらにいいでしょう。

さらに、文章の中に数式がでてきた場合は、ここから数式が始まりますと宣言してから読む方が理解を助けられます。

但し、あまりくどくなったりしないようにも心掛けて下さい。

『対面朗読通信　第５号・６号』も参考にしながら考えて行きましょう。　　（木村）

次の数式を書いてみて下さい。

① ａ分のｂマイナスｃ
② ルートａプラスｂ

いかがですか

① $\frac{b}{a}-c$　　② $\sqrt{a}+b$

多くの人がこのように書かれたと思います。

あなたが何気なく $\frac{b}{a}-c$ と書いたけれど、実際は $\frac{b-c}{a}$ だったと言う事も有り得ます。

また②は $\sqrt{a+b}$ かもしれません。

この２つの式はまったく違うものです。

本を見ていない人に声だけで数式を伝えるには注意が必要です。

きちっと区切って読めば大丈夫とおられる方もあるかも知れませんが、読み方で区別するのは間違いの元です。誤解のないようにするには、言葉で区別するのが最善の方法だと思います。

そういうわけで、対面リーディングで数式を読む場合に注意すべき点を思いつくまま並べてみました。

これが全てというわけではありません。お気づきの点はどしどし指摘して下さい。皆で考えて行く手がかりとなればと思っています。

カッコの読み方

文章の途中に数式がある時には「ここから数式が始まります」など断りを入れるといいでしょう。

数式中のカッコ類は省略しないようにお願いします。大小のカッコがある時には、はっきりと区別します。始まりのカッコは「カッコ」だけでも「カッコ開き」でもかまいません。
「カッコ閉じ」は必ず言って下さい。

３（５＋ｃ）

【読み方】３かける（丸）カッコ５プラスｃカッコ閉じ
【解説】「３かける５プラスｃ」と読むと　３×５＋ｃ　と受け取られる恐れがある
通常は「丸カッコ」の「丸」をとって単純に「カッコ」と読みます。

－（ａ－ｃ）＝ａ＋ｃ

【読み方１】マイナス（丸）カッコａマイナスｃ　カッコ閉じ　イコール・・・
【解説】（ａ－ｃ）にマイナスがかかっていることを伝えなければなりません。

分数の読み方

$\frac{1}{2}$ 、 $\frac{3}{5}$ 、 $\frac{b}{a}$ 　など、分子も分母も単純で前後に数式が続いていない場合は、

「２分の１」「５分の３」「ａ分のｂ」などと普通に読めばいいでしょう。
分子や分母が数式になっている場合、また、前後に式が続いている場合には「分子は〇〇」「分母は〇〇」と分けて読みます。
さらに後に式が続く場合は「分母終わり」と断ってから続きを読んで下さい。
書かれたものを忠実に読むのが基本ですが、数式という特殊な世界なので、ひとかたまりを表現するためにカッコを補うこともあります。

$\frac{8}{2+3}$

【読み方１】分母は２プラス３、分子は８
【読み方２】（丸）カッコ２プラス３カッコ閉じ分の８
【解説】「２プラス３分の８」と読むと　$2+\frac{8}{3}$　と誤解される恐れがあります。

分母は〇〇、分子は〇〇とはっきり読む方が正しく伝わります

$2\frac{3}{4}$ は「２**か**４ぶんの３」と読みますか？　最近は「２**と**４ぶんの３」と読みます。数学を習った時代によっても読み方が違ってきます。どちらがいいか利用者にお尋ね下さい。

ルートの読み方　（√）

√は「ルート」または「平方根」と読みます。また、$\sqrt[3]{\ }$　は「３乗根」または「立方根」と読みます。各種数学記号の読み方はマニュアルがありますので係までお尋ね下さい。
ここでの問題点は√の中の数（または記号）外の数（または記号）を、はっきり区別して読むと言うことです。

$$\sqrt{2x+1}$$

【読み方１】ルートです。ルートの中は２ｘプラス１です。
【読み方２】ルート（丸）カッコ２ｘプラス１カッコ閉じ

【解説】「ルート２ｘプラス１」と読む $\sqrt{2x}+1$ と と誤解される。

$$\sqrt[n]{a}$$

【読み方】ｎ乗根ａ　その他読みは上記に準じて下さい

指数の読み方

a^2 （ａの２乗［にじょう or じじょう］）、a^b （ａのｂ乗）のように指数が一つの数字または記号の場合は問題はありませんが、指数が複雑であったり、長い式の時は、「指数が〇〇　指数終わり」と読めばはっきりとわかります。

$$(a+b)^3$$

【読み方】（丸）カッコａプラスｂカッコ閉じの３乗
【解説】「ａプラスｂの３乗」と読むと　$a+b^3$　と誤解される恐れがあるので必ず「かっこ」を読むようにします。

a^{m+n}

【読み方１】ａ指数がｍプラスｎです
【読み方２】ａ（丸）カッコｍプラスｎカッコ閉じ乗
（数式を読んでいるので「じょう」と読んでも大丈夫とは思いますが、利用者に指数であることを確認するのがいいでしょう。）

【解説】指数が複雑になればなるほど、はっきりと指数は〇〇と読む方がいいでしょう。
例えば　$a^{3\cdot(-2)}$　などでは丸カッコで表現すると複雑になりすぎて理解の妨げになります。

$(a^3)^4$

【読み方】ａの３乗の４乗
【解説】簡単な数式なら丸カッコは読まなくても通じます。
複雑になれば要素にわけ説明して下さい。

絶対値の読み方　（｜｜）

単純な絶対値はそのまま読んでも問題はありませが、複雑な場合は注意が必要です。

$|a|$

【読み方１】ａの絶対値
【読み方２】絶対値ａ

$|2+3|$

【読み方１】絶対値の中は２プラス３です
【読み方２】（丸）カッコ２プラス３カッコ閉じの絶対値
【解説】「ゼッタイチ２プラス３」では　｜２｜＋３　とも受け取られます。

記号の読み方　（＜・＞　≦・≧）

$a<b$

【読み方１】ａはｂより小さい
【読み方２】ａ小なりｂ

【解説】「ａ小なりｂ」と読むと、人によってはａがｂより小さいと考える人も出てきます。「ａはｂより小さい」と読む方がはっきりします。利用者と話し合ってどちらが良いか決めて下さい。

ａ＞ｂ

【読み方１】ａはｂより大きい
【読み方２】ａ大なりｂ

≤　≥

最近の数式を見ると「＜」または「＞」の下にアンダーバーというかマイナスがついた記号が出てきます。

記号の利用の仕方は、文化圏や学派によっても異なるそうで。日本では一本線ではなくイコールを用いることが多いようですが欧米では一本線であっても、不思議ではない、と書かれています。意味的には、大なりイコール（≧）、小なりイコール（≦）と同じです。

記号の読み方　（log）

$\log_a x$

【読み方】ログａ x
【読み方】a を底（数）とする x の対数
【解説】数式が複雑になれば底は〇〇、対数は〇〇とパーツごとに分けて説明するとわかりやすいです。

今回は数式を取り上げましたが、ここでの注意点は対面リーディング全般に言えることです。京都の言葉を知らない人は「上ル・下ル」を誤解されたり、右左（みぎ・ひだり）は誰から見て右なのか左なのかを示すなど、ちょっとした事を心がけるだけで誤解を与えることなく意味が通じます。

皆さまの成功例・失敗例をお聞かせいただければ、職員・ボランティア共有の財産となります。ぜひご協力をお願いします。

視覚障害を持つ音楽家（2）

盲目のイギリス人ピアニスト　デレク・パラヴィチーニ

―すべての曲を一度で記憶しピアノを奏でる　人間ｉＰｏｄと呼ばれる青年――

対面リーディング・ボランティア　望月（もちづき）　明（あきら）

■生い立ち

＊小説家のサマーセット・モームを曾祖父に持ち、名門の家に生まれた。1979年、イングランド南部の都市レディングで誕生。妊娠25週での早産だった。体重６８０ｇと超未熟児として生まれたデレクは酸素吸入を施されるが、病院の設備が十分でなかったこともあり、血液中の酸素濃度を適正に保つことができず未熟児網膜症になってしまう。そして視力を失うだけでなく脳にも重い障害が残った。

＊デレクは、言葉を発し、理解することはできるが、対人コミュニケーションがうまく出来ない。しばしば、他の人の言葉をそのまま繰り返す。あたかも、言葉を自分自身の中に反響させて、その意味を噛みしめ、確認しているかのようである。視覚障害に加えて「自閉症」の症状も。

■驚異的な能力

デレクは過去に一度耳にした音楽を忘れずに記憶し、その何千にも及ぶレパートリーの中から特定の曲を瞬時に思い出して正確に再現する。しかも単に機械的に覚えているだけではなく、それらを異なるキーで演奏したり、あるいはアレンジを加えて変奏するという創造性を合わせ持ち、さらには即興演奏もこなすという。

彼には低音域から高音域までを聞き分ける普遍的な絶対音感があり、オーケストラの楽器を使って試したところ、同時に20音程度までそのピッチを識別することが出来たという。

■デレクの能力を見出し育てた音楽教師

＊４才になり、両親はデレクを視覚障害者の学校に入学させる。初めて学校に行くと、たまたまピアノの授業を受けることに。当時、この学校で音楽を教えていたのは音楽教師アダム・オッケルフォード先生。アダム先生は、その“演奏ともいえない演奏”に衝撃を受けた。可能性を感じたアダム先生は、自ら申し出て、デレクにレッスンをすることに。

＊デレクのピアノに対する執着心は凄まじいものだった。レッスンをする際に、真っ先に乗り越えなければならなかった壁は、デレクに、他の人とピアノを共有するということを学ばせることだったという。アダム先生がピアノに近づくと、デレクはものすごい勢いで追い出そうとする。女の子がピアノを弾いていると、デレクはピアノに駆け寄り、女の子を押しのけ、めちゃくちゃに演奏をし始める。

困ったアダム先生は一計を案じた。デレクを、まずは部屋の隅の椅子に座らせる。そうして、デレクがピアノのところまでやってくる間に、自ら短い旋律を弾いてみせる。デレクが、その旋律を真似して、弾く。アダム先生が旋律を弾き、デレクが同じ旋律を弾く。そのようにして、ピアノで奏でる音楽を仲だちとして、アダム先生とデレクの間に始めてのコミュニケーションが成立した。

＊そして１年が経った頃、いつものようにレッスンをしていると、何と、デレクがアダム先生を押しのけず、横に座る。アダム先生の手に自分の手を乗せ、練習をするように。この時から、ピアノの演奏を覚え始める。デレクがアダム先生に心を許した瞬間だった。

＊しかしそれから約１年。デレクの両親が離婚してしまう。両親は、デレクをひきとらず、視聴覚障害者の学校に預けた。以来、アダム先生は、デレクの生活の面倒も見始める。

　アダム先生とデレクは、しばしば、「コピーゲーム」を行った。アダムが、ピアノに向かって幾つかの鍵盤を弾く。それを聞き取っていたデレクが、そのままそっくり同じように鍵盤を叩く。そうして交互にピアノを弾くことで、デレクが、実際に複雑な音の組み合わせを正確に聞き取って、再現できることがわかった。デレクは、同時に鳴らされたオーケストラ楽器の２０くらいまでの音のピッチを正確に聞き分けられることがわかった。

＊そんな中、アダム先生は、デレクに秘められた、さらに驚くべき能力に気付く。今まで聞かせたことがなかった「虹の彼方に」を聞かせたところ、初めて聞いた曲を完璧に弾きこなしたのだ。デレクの驚異的な記憶力が花開いた瞬間だった。それ以来、デレクは、人間 iPod と言われるほど、曲を吸収し、わずか９歳で初舞台。音楽界で注目される存在になる。ついには、生前のダイアナ妃の前で演奏するまでになった。
＜公式サイト　DerekParavicini.net ＞

お断り：以上の内容は、インターネット上の Wikipedia、茂木健一郎「挑戦する脳　盲目の天才ピアニスト」、『ザ・ベストハウス１２３』（フジテレビ２０１０年９月１５日放送分）などの情報を要約したものです

おしらせ　河南典男先生を偲ぶ会

毎週、金曜日の１時からの対面リーディングを楽しみにされていた河南さんが、逝去されたのは今年の５月でした。多くのボランティアの方にご協力いただき、ありがとうございました。

このたび、河南典男先生を偲ぶ実行委員会（吟嶺会内）主宰で、思い出やエピソードを語り合いながら、故人が歩まれた足跡を振り返る「しのぶ会」を計画されています。

吹田の音訳ボランティア・点訳ボランティアの方々にも参加を呼びかけておられます。

準備の都合上、出欠を取っておられます。ご参加いただける方は10月19日までに谷口・木田・木村までお声をかけて下さい。まとめて実行委員会へ連絡させていただきます。

また、一言メッセージも募集されているようです。文字数は何字でも大丈夫ですが、メッセージは当日印字して皆さんにお渡しする予定だそうです。

日時　2013年11月23日(土・祝)14:00-16:00（受付開始13:30)
場所　吹田市内本町コミュニティセンター　2階多目的ホール
　　(大阪府吹田市内本町2丁目2番12号　電話:06-6319-3395)
会費　2,000円(喫茶形式。当日受付にていただきます)

▼京都・大文字山に登りました▼天気がよく大阪市内まで見渡せたのには驚きました▼もう一つの驚きは親切な人の多さ▼山の事・鴨川の事・トレイルなど何人もの人に教えていただきました　K

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6441-0015（代表）
06-6441-0039（サービス部）